

# 知識を構成する10の柱 - 人類が有する知識の体系図 -

## 概要と構成について

新しい領域を開拓し理解を深めるとともに、私たちの知識は拡大し続ける。革新的なアイデアを思い付き、科学的手法を改良し、新技術を発明すると同時に、新たな分野が出現する。しかし、知識の全容、そして、知識を構成する各要素間の論理的つながりを、私たちは把握し損ねる。

**知識を構成する10の柱 (10 Pillars of Knowledge)** は、人類が有する知識の体系図 (マップ) である。このマップは、知識の構造、そして主要分野間にある重要なつながりを、一見してすぐにわかる形で示したものである。人類の知識は、次の10の柱 (Pillar) で構成されている。

- 基盤
- 超自然界
- 物質とエネルギー
- 宇宙と地球
- 人間以外の生物
- 体と心
- 社会
- 思考と芸術
- 科学技術
- 歴史

「基盤」は、人類知識を考察する柱である。「超自然界」は、神秘主義、および、宗教に関する柱である。「物質とエネルギー」の柱では、物質世界の基礎が探求される。「宇宙と地球」の柱では、地球と宇宙空間とが探求される。「人間以外の生物」は、人間を除く生物界 (言い換えれば、動植物) を追究する柱であり、他方、「体と心」は、人間の体と心とに焦点を当てる柱である。「社会」は、人間の社会生活における様々な側面を取り扱う柱である。「思考と芸術」は、人類の知性の産物、および、芸術を考察する柱である。「科学技術」では、人類の創造力の産物、すなわち、実用的な目的を達成するために考案される事象が掘り下げられる。「歴史」では、人類の歴史が網羅されている。

**知ー超自然界ー万物ー人間。** 10の柱 (Pillar) は、4つにグループ分けされ、これらグループでは、以下の4つの一般現象が探求される。知 (Pillar 1)、超自然界 (Pillar 2)、万物 (Pillars 3-4-5)、および、人間 (Pillars 6-7-8-9-10)。

**生物界。** 「人間以外の生物」 (Pillar 5)、および、「体と心」 (Pillar 6) は、文化的および宗教的観点からは、互いに異なる現象である。「人間以外の生物」は万物の一部であるが、「体と心」は人間自身の一部である。しかし、科学的観点からは、「人間以外の生物」と「体と心」とは、相互に関連している。両者とも、同一の一般現象、すなわち、生物界の一部である。

**カテゴリと分野。**個々の柱は、適切なカテゴリから構成されている。それぞれのカテゴリでは、関連する分野が提示されている。例えば、「物質とエネルギー」の柱は、3つの主要カテゴリ「理論」「原理」および「物質」から成り立っている。「理論」カテゴリでは、2つの分野「物理学の哲学」および「時空の哲学」が提示されている。「原理」では「物理学」が、そして、「物質」では「化学」が提示されている。マップ中のカテゴリは、知識分野とは異なるものであり、この区別は極めて重要である。

**人類知識の図書館。**このマップが、図書館を反映していると想像していただきたい。柱は書架、カテゴリは棚、そして、分野は本に相当する。「人類知識の図書館」は、何百冊もの本（すなわち、分野）の見事なコレクションを有している。これらの本は、10の書架（すなわち、柱）に収められ、書架は、適切な棚（すなわち、カテゴリ）に分けられている。

人類の知識は、絶え間なく拡大し続ける。新しい本が書かれる。古い本は、改訂される。これは、私たちの文化遺産の本質である。

**理論－具象化。**人類の知識には、理論－具象化という構造が伴う。この構造は、マップレベル、柱レベル、そして分野レベルで、実際に見ることができる。

マップレベルでは、Pillar 1が人類知識の“理論”部分、Pillar 2からPillar 10までが“具象化”部分にあたる。Pillar 1は、メタ知識（すなわち、知識についての知識）、より正確に言えば、人類知識の「理論」に相当する。Pillar 2からPillar 10では、超自然界、万物、そして人間に関する現象－すなわち我々の探求対象－についての知識が具象化されている。

柱レベルでは、1つめのカテゴリ「理論」が、柱内の“理論”部分となる。このカテゴリには、探求対象となる現象の理論的側面に焦点を当てた分野（例えば、「知識の哲学」、「科学哲学」）が提示されている。その他のカテゴリでは、探求対象となる現象についての知識が具象化されている。1つの例外を除いて、柱内には全て、理論－具象化構造が存在する。Pillar 8「思考と芸術」は、3つのセクション、すなわち「思考」「文学」および「文学以外の芸術」に分けられ、それぞれのセクション内に、理論－具象化構造が存在する。

分野レベルでの“理論”セクションは、分野内の理論部分に存在する（例えば、「医学哲学」は、「医学」の“理論”セクションの一部）。これ以外のセクションは、関連現象についての我々の知識を具象化するものである。「医学」を例にすれば、「内科学」、「小児科学」、「外科学」などがある。

**ナレッジ・マップ (Knowledge map)。**ナレッジ・マップは、私たちの世界認識のしかた、そしてこの世における私たちの活動様式を、具体的に表現するものである。ナレッジ・マップには、体系的かつ包括的であることが求められる。知識を構成する10の柱 (10 Pillars of Knowledge) は、体系的かつ包括的なものである。このマップは至極当然に見え、大多数の人間による知識の捉え方が反映されている。このシンプルさは、人類の現代知識のマッピングを目標とする、現在進行中の研究の成果のひとつである。この研究は、10年近く前にスタートしたものである。

Pillar 1: 基盤	Pillar 2: 超自然界	Pillar 3: 物質とエネルギー	Pillar 4: 宇宙と地球	Pillar 5: 人間以外の生物	Pillar 6: 体と心	Pillar 7: 社会	Pillar 8: 思考と芸術	Pillar 9: 科学技術	Pillar 10: 歴史
<p>1. 理論 知識の哲学 科学哲学</p> <p>2. 文脈 (時と空間) 科学史 知識社会学</p> <p>3. 方法論 科学方法論</p> <p>4. 媒介 情報学 博物館学 科学計量学</p>	<p>1. 理論 宗教学</p> <p>2. 神秘主義 神秘主義</p> <p>3. 宗教</p> <p>1. 古代 エジプト神話 ギリシア神話</p> <p>2. 唯一神教 ユダヤ教 キリスト教 イスラーム</p> <p>3. アジア 仏教 ヒンドゥー教 ジャイ教 シク教 儒教 道教 神道 バハイ教 ゾロアスター教</p> <p>4. 現代 サイエントロジー</p> <p>5. 民俗 シャーマニズム ブートゥー教</p>	<p>1. 理論 物理学の哲学 時空の哲学</p> <p>2. 原理 物理学</p> <p>3. 物質 化学</p>	<p>1. 理論 宇宙論の理論</p> <p>2. 宇宙 天文学</p> <p>3. 地球</p> <p>1. 地表と物質 自然地理学 地質学 土壌学</p> <p>2. 相互関係 農学 環境科学 自然災害</p>	<p>1. 理論 生物学の哲学 生命倫理学</p> <p>2. 基礎科学 生物学</p> <p>3. 健康と福祉 獣医学</p> <p style="text-align: right;">生物</p>	<p>1. 理論 生の哲学 心の哲学 生命倫理学</p> <p>2. 基礎科学 人類生物学 心理学 神経科学 認知科学</p> <p>3. 健康と福祉</p> <p>1. 医科学 医学 歯学</p> <p>2. コメディカル (パラメディカル) 研究 聴覚学 臨床心理学 助産学 看護学 栄養学 作業療法学 オプトメトリー (視科学) 薬学 理学療法 公衆衛生学 言語療法</p> <p>3. 補完医学 アユルヴェーダ医療 中国医学 ホメオパシー</p> <p style="text-align: right;">界</p>	<p>1. 理論 社会科学の哲学 社会哲学</p> <p>2. 社会全体</p> <p>1. 全般 社会学 人類学 人文地理学 人口統計学</p> <p>2. 地域別 地域研究 (地域毎の分類)</p> <p>3. (活動の)領域</p> <p>1. コミュニティ</p> <p>1. コミュニケーション 記号学 言語学 言語 コミュニケーション学</p> <p>2. 契約 政治学</p> <p>3. 規範・規則 倫理学 法学</p> <p>4. 行為 社会心理学 犯罪学</p> <p>2. 要求と活動 文化研究 経済学 教育学 公衆衛生学 レクリエーション 社会福祉事業 スポーツ 観光 都市計画</p> <p>3. マネジメント マネジメント研究</p> <p>4. 社会集団</p> <p>1. ジェンダー 男性学 女性学</p> <p>2. 年齢 青少年研究 老年学</p> <p>3. 民族 民族学 (民族毎の分類)</p> <p>4. 関係・関与 家族研究 ゲイ&amp;レスビアン 研究</p>	<p>1. 思考</p> <p>1. 論理 (理論) 哲学</p> <p>2. 表現 言語の哲学 文献学</p> <p>3. 関係・関連 論理学 数学 統計学</p> <p>2. 芸術 - 文学</p> <p>1. 理論 文学理論</p> <p>2. 形式 詩 散文 戯曲 随筆</p> <p>3. 文学以外の芸術</p> <p>1. 理論 芸術の哲学 美術史</p> <p>2. 形式 コンセプチュアル・アート 素描 水彩画・油絵 彫刻 写真 版画 タペストリー 舞踊 音楽 演劇 オペラ 娯楽 映画 デジタル・アート 応用美術、意匠 建築</p>	<p>1. 理論 技術の哲学 (技術論)</p> <p>2. 専門家、専門職 工学</p> <p>3. 個々の科学技術</p> <p>1. 科学 人工知能 バイオテクノロジー 計算機科学 (コンピュータサイエンス) 材料科学 ナノテクノロジー 原子力技術</p> <p>2. 要求と活動 教育工学 食品工学 情報技術</p> <p>3. 材料 セラミックス技術 ガラス技術 鋳鉄技術 鋳物工学 木材技術</p> <p>4. 処理 切削技術 凍結技術</p>	<p>1. 理論 歴史哲学</p> <p>2. 記憶全般 歴史 考古学</p> <p>3. 関係・間柄 系譜学</p>
知	超自然界	万 物			生物 界		人 間		